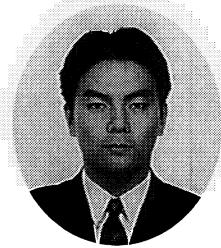


平成八年度盲・聾・養護学校高等部募集定員の主な内容をお知らせします。基本方針としましては、平成八年三月の各盲・聾・養護学校中学部及び中学校卒業者の中学校卒業者の中学校卒業者の志願の動向を考慮しながら、適正に受け入れるよう策定します。

一 学科改編
聾学校高等部においては、魅力ある学校づくりを推進するため、力技術科を普通科と情報工業科・生活技術科の三つにすることにしました。職業科のねらいの要旨につきましては、以下のとおりです。

○情報、工業科 情報、工業技術の発展に対応できる能力の育成に努める。
○総合生活科 総合生活科

チャイム



本多信弥

国体を振り返つて

二 平成六年度新規開設
度から高等部が開設されました。各校の募集定員については、下の表のとおりです。

※※※※※

聾学校	盲学校	聾学校	会津養護学校	あぶくま養護学校	いわき養護学校	平賀川養護学校
(平成四)三四一五七	(平成四)三四一五七	(平成四)五二〇二八	(平成四)五二〇二八	(平成四)五二一九〇	(平成四)三二一五九二	(平成四)三二一五九二
(平成四)三四一五七	(平成四)三四一五七	(平成四)五二一九〇	(平成四)五二一九〇	(平成四)三二一五九二	(平成四)三二一五九二	(平成四)三二一五九二
(平成四)三四一五七	(平成四)三四一五七	(平成四)五二一九〇	(平成四)五二一九〇	(平成四)三二一五九二	(平成四)三二一五九二	(平成四)三二一五九二
(平成四)三四一五七	(平成四)三四一五七	(平成四)五二一九〇	(平成四)五二一九〇	(平成四)三二一五九二	(平成四)三二一五九二	(平成四)三二一五九二

場した。

振り返つてみると平成四年に強化指定選手に選ばれ、地元ふくしま国体優勝を目指し、県内合宿はもとより全国各地を遠征する日々が続いた。遠征当初は思うような結果が残せず悩む時期があつたが、国体が近づくにつれて見失いかけていた自分の剣道に徹する事が出来、イメージ

平成8年度福島県立盲学校・聾学校・養護学校高等部生徒募集定員

学 校 名	障害種別	学 科 名	募 集 定 員
福島県立盲学校	視覚障害	普通科	若 干 名
		保健理療科	若 干 名
福島県立聾学校	聴覚障害	普通科	若 干 名
		情報工業科	若 干 名
福島県立あぶくま養護学校	精神薄弱	普通科	若 干 名
福島県立会津養護学校	精神薄弱	普通科	若 干 名
福島県立いわき養護学校	精神薄弱	普通科	若 干 名
福島県立郡山養護学校	肢体不自由	普通科	若 干 名
福島県立平養護学校	肢体不自由	普通科	若 干 名
福島県立須賀川養護学校	病弱	普通科	若 干 名
福島県立盲学校	視覚障害	専攻科理療科	若 干 名

今年度の家庭劇場は、九月二十七日から十一月二十四日まで、十四町村で開催されました。

主催は、福島県教育委員会、(財)福島文化センター、開催地町村及び教育委員会、(財)日本青少年文化センター、(社)日本児童演劇協会。

家庭劇場は、日頃、親子そろって舞台芸術に接する機会の少ない地域の皆さんに、家族ぐるみで鑑賞できる舞台を提供する、開催希望の多い事業です。

音楽公演としては蘭田憲一とデキシーキングスの演奏。神谷満実子のソプラノも加わって、生のジャズが初めての子どもたちも、体で拍子を取りながら満足そう(平田村、小高町、都路村、矢祭町)。

児童公演としては劇「グリムのハンスと大魔女」の上演。グリム兄弟原作、村田里絵脚本、平塚仁郎演出による劇団優座の公演で、会場を沸かせました(金山町、三島町、浅川町、鮫川村、棚倉町、東和町、月輪町、靈山町、新地町、大越町)。

両公演とも、子どもから大人までそろって楽しめるプログラム。生の舞台を楽しんだ皆さんは、家族でどんなことを話し合つたのでしょうか。

剣道競技成年二部の試合が開催された。成年二部は生涯一度の出場と規定されており、先鋒・中堅・大将の三人で戦う競技で私は先鋒として出

感とともに自信はあつたが、勝負の世界はなぜか解らない。試合当日、経験の無い緊張感とプレッシャーを感じながら観衆の中に立つ

ていただ。会場には日頃指導している剣道部員が応援に駆け付けていたが、それすら気付かない状態であった。しかし、いざ試合が始まると最初の一本を取ると不思議と今までの緊張感が消滅し、自然に体が動くようになった。

結果は、成年二部優勝、種目別総合優勝。私が長年修練してきた剣道人生の中で最も良い日となつた。

「やるべき事は全てやつた」という実感とともに自信はあつたが、勝負の世界はなぜか解らない。試合当日、経験の無い緊張感とプレッシャーを感じながら観衆の中に立つ

家庭劇場

か。